【1】 日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別扱承認第684号 磐城日日 昭和26年（1951）10月7日（日曜日） 第353号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町諸廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

町に拾う停電異變
製氷業者は悲鳴
一般家庭に協力を希う

連日連夜の停電は各方面に種々な事件やら問題を惹き起しているので小名浜の各部門にいろ／＼と意見を訊いてみた

日冷小名浜工場主任談

冷凍冷藏の使命は食糧確保の観点から重大であることは今更申す迄もありません従つて高度に活用しているだけに今回の停電は國家的大損失とも云えます、従来の結氷時間が廿四時間乃至卅時間であつたものが、ゆうに百六十時間も要するのですから結局一日で出来たものが六日間もかゝる譯です。しかしもつと細かく計つてみると機械の一回轉が三十分の時間を要するのだが安全に回らぬうちに停電となるのでまた元に戻つて零となるので実際は六倍どころの差でなく操業停止の状態です

底曳組合製氷工場 近藤主任談

従来日産九十六本なのが十二本ようやくという惨めな狀態でサンマ盛漁期でもあり全く困りました送電にはいろ／＼と關係者も苦勞して居られることでしようがなんとかもつと方法はないものでしようか、幸ひ製氷運營委員会の努力によつて移入氷が現在の需用を賄つて居りますので不便は來たさないようですがやはり直接製氷と異つてかなり不利は否めません

將來は吳羽化學、日本水素等の如く直通線を架設して需用者各位に少しでも不便不利を蒙らせないよう致したいと思います

映畫館磐城座 松本支配人談

興行成績は僅かに二〇%にも達しませんしかし利害という点よりも折角おいでになつたファンの方々に迷惑をおかけすることが心苦しいのです、せめて前以つて送停電の時間が判つて居ればいざ知らず、予告なしに停電されたときは全く處置なしでしたが五日の雨で多少好轉したようですがこれからも油断は出來ません

家庭主婦（三〇）談

一般家庭も不自由ですけど日頃余り明るいのに馴れ過ぎて居るからです、かつてのローソク送電時代がありましたがそれよりも四灯なら二灯、二灯の所は一灯とすれば充分節電出來る譯です、全然つかないことを考えれば誰方でも出來ることです私共では五灯ですが居間一灯と手洗所だけにしておりますが不自由なのは誰方も同じですから決して不平などございませんただ一日も早く好轉される事を願うばかりです。

岡小名変電所談

五日より取敢ず晝間の緊急停電は解除になつたが其の他については當方では不明なるも四日夜半の雨は電源地方に降雨があつた場合現在の事情が幾らかでも緩和されるとはあるでしよう、これに對して東北電力小名浜營業所では少しでも需用者のためにとあらゆる努力をして居り五、六日の夜はトラックで所員がスピーカーを通して一般家庭に更に協力を呼びかけて居る、五日の雨と需用者の協力によつて晝間の緊急停電は解消し夜間は送電出來ると言つて居る降雨も充分でないのでこれからも油断は出來ず尚一層の協力を要望して居る

八幡さまのおまつり

平一小三ノ三 阿部嘉文

今日は、はちまんさまのおまつりです。きのうからふりつづいた雨は、朝になつてもやみません。ごゞから雨がはれましたので、ぼくは、はちまんさまにおまいりにいきました。はちまんさまのまえにくると、大きなのぼりが風にふかれて、ひら／＼していました。道のりようがわには、いろいろな店がならんでいました。おやしろでは、さきほどから、まえや、たいこの音でたいへんにぎやかです。ぼくはおまいりをして、やく三十分ほど、ぶらぶらながめていました。とれからやぶさめがはじまるところです。馬にのつた、むかしのぶしのすがたをしたおじさんたちがあらわれてきました。なにをやるのかとおもつていましたら弓を持つてマトにうつのです。馬があばれるのでなか／＼あたりません。ぼくは、はら／＼してながめていました。おねえさんにきくと、むかしは、この弓をもつていくさをしたというはなしです。そのうちつぎから、つぎえとあたりました。なにごともねつしんにやればできるものだということをはじめて知りました。

日米重量擧開幕
全國試合のトップ切る

日米親善對抗重量擧福島縣大会は日本重量擧協会縣並に平市主催のもとに本七日午後一時より平市公會堂本館に於て華々しく行なわれるが、福島大会は全國でトップを切るものである

去る四日羽田に到着したアメリカ選手團監督シヤツク・松本、バンタム級リチャード・トム、フエザー級ジョージ・吉岡、リチヤード・富田、ラト級エメリツク・石川、ミドル級キヨウキ・山下の一行六名は六日午後一時平驛に到着驛頭に多数市民の歡迎を受け銀座通りより三丁目を通つて宿舎甲陽館に落着いた、午後四時半からは平市公会堂日本間に於いて平市主催の日米選手の歡迎会が催され親善の握手が交された

本七日は正午より入場式を行いいよ／＼熱戰の火蓋を切ることになつた

石炭の輸送計畫
三十一万噸に配車

東部石炭協会では十月の常磐炭の出炭予定を三十八萬一千三百二十噸とみて水戸鐵道管理局に對し貯炭の積出しを含めて四十萬三千八百二十屯の輸送に配車を要請したが結局驛別輸送を三十一萬屯と決定した

なお十日頃よりは割當の外に綴驛より隅田川直通列車を運轉して輸送の緩和を圖ることになつた、關係驛の割当屯数は次の通り

勿來＝二三二〇〇、植田＝一六〇七〇、湯本＝五七四二〇、綴＝八八五九〇、平＝二五〇〇、赤井＝六四〇〇、小川郷＝三三〇〇、四倉＝六〇〇

時局講演會

平商工會議所では來る九日午後六時より公會堂日本間に於て講和記念時局講演会を開催する講師は日興證券外國部長安西政一郎、全相談部長内田嘉六の兩氏で世界情勢と今後の日本経済について講演をする

内郷で水道企画委員會

内郷町では八日午後一時より水道企畫委員会を開き計畫水道の一部變更と異型管の購入について協議する

九月縣會

講和後の財政と行政機構の改革

縣会議員 大井川正巳

講和後のわが國經濟は主權の回復、領土問題、防衛協定、特に安全保障協定にからまる新らたな財政負担、賠償等財政的、經濟的の問題が登場することは決定的である、國縣、市町村の財政負担もまた加重することを覺悟せねばならない

池田藏相は講和會議に出席しての歸國談のうちに「外資導入は見込薄である」と言明したのであるが吾が國經濟は外國資本に依存することは世界の客觀狀勢よりみて許されないと思うのである、大竹知事は本会議に於て予算の編成や財政的措置を中央に依存しているが只見川電源問題を初め縣内國土產業開發を中心として重要問題が山積しており本年度の財政計画に於て約十八億の赤字を予想され今回の追加更正四億九千二百八十余万円を提出、合計七十五億を突破する膨大な予算となつたがこれに對する縣費は極めて少なく歳入歳出のバランスを圖る程度にすぎず、従つて開店休業の姿態を露呈するという不健全極まる悲しむべき財政の貧困に直面したと云わざるを得ない

二十七年度の予算編成の根本方針は經濟自立を基盤とする健全財政の確立を期すべきである、民主々義の財政を担當する所以は「よらしむべく、知らしむべし」で多難なる本縣財政の基本は縣民に財政白書を公表し縣民一如の協力体制を確立することである、財政審議会を中心として財政捻出の方途を講ずることこそ正に重大であると思うのである、自主的健全財政の確立を明朗なる縣政進展を期するには講和條約の精神に基き、生產勤勞意欲の昂揚と道義心の發揚貯蓄勵行の縣民運動を興すことこそ目下の急務と思う

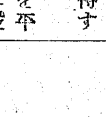
吉田首相は今春行政改革を聲明して以來、政令檢討諮問委員会に於て行政機構改革に伴う人員整理の答申案に基き大体決定したと發表されている、現内閣同様大竹縣政に於ても行政整理は重大な施策であり縣民が注視している大きな問題である

戰爭中の遺物とも見られる出先機關も多少は整理統合されたのであるが、依然として縣職員は增員の一途を辿り予算定員六千三百余名を突破して人件費も巨額に達している地方事務所に例をとれば年間約五億円の支出を必要とするのである

今回の整理対象の基本は必ずや廳内各部課の配置轉換が實施されるについては中央の指示あることは勿論であるが要は本縣の實狀に即應した行政機構の改革が必要であると信ずる

縣民多年の要望である縣廳郡山移轉、十六地方事務所の半減問題がさかんに叫ばれているのももとより縣民福利と事務の簡素化、地方財政の確立上画期的行政機構の改革斷行については大竹知事に對する縣民の強く期待するところである

構想としては縣支廳を平、郡山、若松の三方部に設置し地方事務所を之に統合廢止、支廳長には副知事級の大物を据えて決裁權を與える、もしこれが実現するとあらば前述した縣廳の移轉問題を解消し縣政運營の合理的効果と縣民の福利增進も出來ること、確信して疑わない、縣民の要望切なる秋他縣に卒先して範を斷行することこそ公選大竹知事に望むものである



女中さん募集
年令中卒以上の者
要保證人並履歴書
姓名在社②

開店御披露
◎◎◎◎◎
▽すべてに御満足いただける……
新装美人揃ひの家
女給さん入用
二十才―三十才迄委細面談
カフエー鷹取
小名浜町下町四五 電話呼七七番

產婦人科
レントゲン
久保田醫院
院長 久保田[illegible]
副院長 久保田[illegible]
助產婦 久保田イネ
小名浜町横町（電二一）

（月賦販賣中）
オート三輪車なら……
ダイハツ號
小名浜町
宮下商會
モーター部
＝外交員募集＝
電話一九八番
四五九番

文房具と運動具の店
坪内商店
小名浜町上横町
（消防署隣）

お電話ですぐお迎えに参ります
福島縣小名浜港
電話103番
旅館 小瀧
日本國有鐵道推薦
日本交通公社協定

泉村農業委員會
大平山開こんが俎上に
片寄農地課長も說明

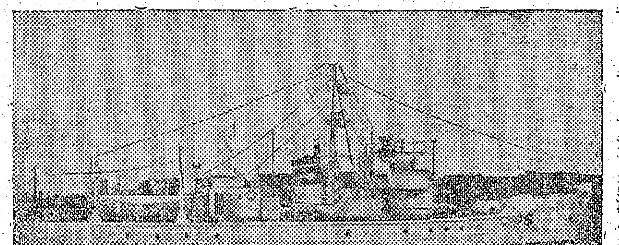
泉村農業委員会は去五日午後一時より全委員出席の上役場會議室に於て地方事務所片寄農地課長の臨席のもとに開催、大平開拓に対する陣情請願者及び耕作人など約三十名が傍聽、開墾をめぐる紛爭について陣情者及び當時の關係者廿數名の間に前後三回に亙つて論爭がかわされた、これについて鈴木(孝)会長より當時の農地委員佐藤進氏に對して尋問するところがあり、佐藤氏は當時山を十二分して前後三回に亙り登記をなした當時の狀況を詳細に報告した。次いで吉田委員より佐藤氏に對し、ハツキリした異議を申立てたことは山を所有することを希望するのかと質問あれば開墾する目的であるから解放して貰いたいと答えたが佐藤(權)委員、佐久間委員等より告示の件につき質問あり激論が展開され結局結論に至らず委員會に於て再調査をすることとになつた、これにつき片寄農地課長より次のような說明があつた

現在は米麥の統制撤廢論が叫ばれていることとは新聞にも報導されているが、外地から年百萬屯の食糧を輸入するという食糧事情である當時は戰時中でもあり食糧事情を少しでも緩和しようと努力した故に食糧增產の觀点から國內自給自足のため強制買收をなしたもので委員會として適地開拓部会があつて其の委員会の決定に基き元の委員会又は縣獨自が買收したものであり、これについては告示が必要で既墾地は廿日間、未墾地は廿日間告示をなし、この間に異議があれば申立て、縣に對して訴願をなしその結果容認か却下の決定がある、もしも申出でに對して通らなかつたときは第一に異議、第二に訴願、第三に行政裁判をするのである。との場合異議訴願は出てなかつたとすればそれを云々したところで考慮には入れるが國有(農林省所管)となるのである私は入植者に對しては先ず引揚者、次に戰災者、農家の二、三男を入植させるよう考慮している

海のGメン「もがみ」
××××航海船上の訓練後××××
水野副團長の訓示

待望の小名浜海上保安部巡視船「もがみ」は昨朝午前七時五十分英姿を小名浜港外に見せ、一時投錨のうえ予定の時刻午前九時を待つ、三千屯岸壁には我等の「もがみ」を迎える黑山の人々、連日來の曇天も今日はからりと晴れた秋日和「もがみ」の幸先を祝福するが如くかもめも青空を飛び交う中にくつきりと日章旗をひるがえして「もがみ」は九時デャスト着岸、出迎えの滝山部長以下多數の名士達の拍手のうちに矢野船長以下乘組員全員が到着の挨拶をすれば海上保安協会よりの大花輪はミス・サルベージ橋本榮子孃より美しい花束は海上保安協会福島縣支部長三代義勝氏の令孃可愛らしいミサオちやんから矢野船長に贈呈、鄕土名產の銘酒鄕鱗は永井警救課長より大隅機關長に贈られ拍手喝采……カメラのシャッターをきる音……音、やがて海洋少年團水野副團長引卒の幹部以下百十數名の團員によつて船內參觀などあり矢野船長、大隅機關長、西山航海長の各部の懇切な說明に參觀者はその設備の優秀さに驚歎、終つて一時休憩ののち海洋少年團の乘船直ちに航海船上訓練が開始される

時十時四十五分快調なエンジンの響きに處女航海のスタートが切られ青大なれど波やゝ高くしぶきを浴びて「もがみ」は沖へ沖へと進む、西山航海長十三ノットですと目をみはる海のよい子たちに知らせれば全員「すごいなあ、バンザイ」と感激の歡聲……劍ヶ濱沖からとり舵一ぱい左に反轉豹渕沖を經て正十二時歸港着岸、その時間の正確さに參觀者は今更ながら感歎する、快適な船上訓練を終えた海の子達は尚名殘り惜しそうに下船、終つて遠山保安部長の講評、水野副團長の訓示などあつて海上保安部員と「もがみ」乘組員との賑やかな会食を爲して午後一時喜々として散會、有意義な海洋少年團の航海船上訓練と盛大な海の祭典はとどこうりなく終了した


（寫眞は「もがみ」の英姿）

酪農の協同組合を創立

泉村瀧尻吉田勝記氏外有志によりいづみらく農業協同組合を創設することとなつた小名浜、江名、泉、渡邊、磐崎の五ヶ町村を一環とするもので來る十日午後一時より泉村農協會議室に於いて創立總会を開催することに決定

米麥統制撤廢に
磐炭勞で反對を表明

磐炭勞では去る三日米麥の統制撤廢說について勞働者の生活をおびやかすと縣、安本、農林省に反対陳情書を手交した

植田町會の協議會

植田町會協議会は六日午前十時より役場会議室に於いて開催、植田＝小名田間の道路改修、植田町保健所建築問題、植田町公營住宅等について協議した元自治警察署は公民館に改裝することに決定午後三時終了

珠算の檢定
平商で行う

平商工會議所では去七日午前九時より平商業高等學校に於て濱三郡の珠算受驗者九百七十名を集め一級より六級までの檢定試驗を行う

小名高敗る
東北予選第一日

第六回國体高校ラクビー東北豫選は五日より青森縣八戸市で擧行されているが本縣代表小名浜高校は第一日第一回戰に於て宮城縣代表宮城(渡波)水產に遠途の疲れが災して40—0で敗退した

植田町にスズラン燈

植田町商店會では町の美化と防止防犯の見地より町內にスズラン燈を五十五本予算七萬円で設置することになり近く着工の予定

日本水素宇部に惜敗

全國硫安肥料軟式野球大會は四日より東京に於て行われていたが東北代表日本水素軍は接戰の上4—3で宇部工場に惜敗

天氣豫報

【本日】北後東の風、初めは良い天氣ですが次第に薄雲が擴つて午後には高曇となりましよう

【明日】曇勝ちの天氣です

【海上】北西の風が強く波立つておりますが次第におさまるでしようが漁船は注意を要します明日は穩やかになりましよう

魚菜市況 6

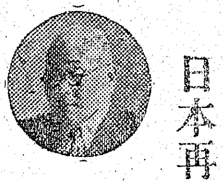
【小名浜中央青果市場】休み

【小名浜魚市場】えび七八〇〜一、〇八〇はも二〇〇、きれはも二二〇、たい八〇〇、ぎす一〇〇〜一二五、いなだ二〇〜二九〇、なめた二八〇、かんぱち四六〇さば五五、またと二五〇いか一四五〜一六〇、平目九六〇、ほうぼう三五〇、水ぎす四五、水たら三〇、黑子四〇、さんま六〇〜一一〇

（六日水揚六万貫）

印刷の御用は…
小名浜のナガセへ

日本再建と報德 ⑥
平第一小学校長
黑田吉之助



前の道歌で言えば蛇の仕合せになる事は蛙の不仕合せになり蛙の仕合せになる事は蛇の不仕合せになると言うことであります、余樂とは之と反對に甲の仕合せになる事は乙も共に仕合せに乙の仕合せになる事は甲も共に仕合せになると言うことで前の道歌で言えば蛇の仕合せになる事は蛙も共に仕合せになり、蛙の仕合せになる事も共に仕合せになるという事であります

一寸考えますとこの世の中は片樂の世の中で余樂の世の中でない樣に考えられますがよく／＼考えて見ますとそうでない事がよくわります、蛇が蛙をつかまえて喰うとき如何にも蛇の極樂蛙の地獄の樣に見えます、即ち片樂の樣に思われます、しかし蛇が蛙を喰つて喰いつくし一匹の蛙も此の世の中に居らなくなつたら果して蛇は生命を保つことが出來ましようか、蛇自身も自滅するしかなくなるだろうと思います

との事を一寸考えて見ますと片樂の世の中がありそうですがよく／＼考えて見ますと片樂の世の中はあり得ないのであります、余樂とその世の中に實現し得る眞理なのであります

二宮先生は「天地相和して萬物生じ、夫婦相和して子孫生じ、貧富相和して財寶生じ國用足る」と教えられ其の道歌に「天地の和して一輪福壽草咲けよとの花幾世經るとも」と歌われ二宮翁夜話卷三の十二に「翁曰く家屋の事を俗に屋船又は家台船と云う面白き俗言なり家をば實に船と心得うべし、是を船とするときは此の家船に事あるも又世の大海に事あるも皆遁れざる事にして船頭は勿論此の船に乘り合いたる者は一心協力此の家船を維持するは樽の取樣と船に穴のあかぬ樣にするとの二つが專務なり、この二つによく氣を付くれば家船の維持疑いなし、然るに樽の取樣にも心を用いず家船の底に穴があきても是を塞がんとせず、主人は働かずして酒を呑み妻は遊藝を樂しみ伜は碁將棋に耽り、二男は詩を作り歌を讀み安閑として歲月を送り終に家船をして沈沒に至らしむ歎息の至りならずや從令大穴ならずとも少しにても穴があきたらば速かに乘合一同力を盡して穴を塞ぎ朝夕ともに穴のあかざる樣に能々心すべし、是れ此の乘合の者の肝要のことなり、然るに既に大穴あきて獨是を塞がんともせず各々己が心の儘に安閑と暮し居て誰が塞いで呉れそうなものだと待つて居て濟むべきや、助け船をのみ頼みにして居て濟むべきや、船中の乘合い一同身命をも捉つて働かずばあるべからざる時なるをや」と論されて居ります、然るに社会の現狀は如何でしよう、地主小作者は宿敵の如く考え資本家と勞働者とは斗爭すべく運命づけられたものの如く思いこみ斗爭斗爭で日を送る譯もないわけではありません、無上命令で理窟抜きに戰爭にかりたてられかて加えて敗戰の憂目に四苦八苦の私共八千萬の同胞がこの上血で血を洗うが如き愚を敢てしまして果して日本再建を望めるでしようか地主も小作者も資本家も勞働者も、官も民もこの際一切のゆきがかりを捨てて大乘的見地に立つて文化日本の建設のために精進すべきであります

胃腸科外科
[illegible]
平市驛前大通り
電話107番
[illegible] 法人 松村病院

健康は早い手當に良い藥
寒さが駈足でやつて來ます
感冒にかからぬ丈夫な体は
パンリボールの服用から
驅虫藥なら 長生堂藥局 電三七〇

十月四日ヨリ八日マデ
待望映畫史上
不滅の名作
レベッカ
キャスト
ナイジェル・ブルース
ジュディス・アンダスン
ジョージ・サンダース
ジョーン・フォンテイン
ローレンス・オリヴィエ
平市 ひかり座

◎工員募集◎
職工住宅付き
年齢 男 二十才以上 四十才迄
　　 女 十八才以上 三十才迄　夫婦者可
製函製材經驗者若干名
希望者は履歴書持參來所されたし
泉驛前
和田製材木工所
電話三十一番